



第 194号

代田・九条の会News

編集  
代田・九条の会  
小澤 清子  
伊東 宏

2025/1/14

伊東 宏 Mail:

itohiroshi1007@gmail.com



ホームページ : <http://www.daita-9jo.sakuraweb.com/>

迎春  
2025  
すべての  
いのちと  
自然を  
守れ



岩瀬 薫

## 終戦80年

ウクライナとガザでの対立が続き、軍事対軍事の対立が深まっています。日本は、本  
当に独立国なのではないでしょうか。「日米同盟絶対」で日米、米韓、米豪などの軍事同盟の強  
化を進め、日本は、その最前線に立たされています。

アメリカの方ばかり見ず、世界に目をむけて対抗ではなく対話と協力を進めていくこ  
とが大切です。80年前の様に日本が再び焼け土の原にならないために。

被爆80年 被爆者の身をしていした長きにわたる核兵器の悲惨な実相を訴えた、核廃  
絶への運動が実り、日本被団協がノーベル平和賞受賞。人類と核兵器は共存できませ  
ん。唯一の被爆国である日本は「核抑止」の幻想にとらわれしないで、まずは、核兵器禁  
止条約締約会議へのオブザーバー参加をするべきです。

その先にある核兵器廃絶にむけ、大きな運動を進めましょう。

災害は忘れた頃にやってくる 十月桜が一月に咲いています。名前を付けたときは10  
月に咲いていたのではないのでしょうか。温暖化の影響でしょうか。昨年(2024)の1月1日の能  
登半島地震・9月の大洪水。自然保護団体 WWP ジャパンによると「東京は、集中豪雨  
や台風の激化により現在の約4倍の洪水が発生しやすくなり、23区の3分の1が水に  
浸かるという想定も」(2024、12、30赤旗)

生命と生活を守るために、「軍拡よりも防災対策に予算を」の声を大きくしていきま  
しょう。

代田5丁目 小澤 清子

# 2025年 新年にあたって

21世紀に入ってもう25年目です。相も  
 変らぬ戦禍が絶えません。それらに業い  
 て軍事費も倍増。その増徴税が何とそい  
 います。一年間も非円の軍事費の50%以上  
 が、武器を何年も以前に買ったローン支払い  
 実質予算外なんですね。面白いも同然。しかも、  
 生活保護費は、月千五百円上乗せしてだけ  
 で自衛する政府。いい加減にしてと言いたい。  
 また今年もおむりの年になるのか?!

代田1丁目・横川 功

今年も元日、改革七福神廻り  
 来ました。七福神をあげ、ブーイング  
 なく、ヤフには、お存わらないだろうけど  
 お願いをしてみました。「刻も早く  
 終わらせてくれ」と

梅丘二丁目・湯沢 勉

明けましておめでとうございます  
 「戦争の準備でなく、平和の準備  
 を」に向かって  
 少しずつ歩み出そうと思っております  
 本年も宜しく願いいたします。  
 代田2丁目・坂本 功



### お正月から怖い話

『アメリカに必要なものは永遠の戦争である』  
 チャールス・エドワード・ウィルソン  
 (GE/CEO)

彼はトルーマン政権に強い影響力を待ち 1946年  
 「軍事費の大幅拡大が外敵(ソ連)、内敵(労働者)を  
 征服すると主張。「戦争は儲かる産業」としてアメ  
 リカの公共事業になっている。(宇山卓栄・作家)

日本も大幅な軍拡に邁進、アメリカの戦争に加担  
 し「戦争は儲かる産業」と、追随しようとしている  
 のか?  
 それは憲法9条がゼツタイに許さない!!  
 代田5丁目・日暮 恵子

あけましておめでとーございす

元旦にはおせちを食べ、落語を聞いて、2日はウー・インフィルのニューイヤーコンサートの録画を見て、これが私の新年です。

地球の向うでは会糧も水も無く爆撃で人が亡くなり、アメリカもドイツも移民の迫害が強まっています。

日本へ若者たちよ、「今だけ、金だけ、自分だけ」の流れに逆って、新しい未来を目指してほしい。

「平和・絆・愛を全世界に。」とウー・インフィルから新年のメッセージが呼びかけられました。「美しく青きドナウ」の音楽にのせて

代田1丁目・岩瀬 蓮

2025年も選挙イヤー

新年恒例の、今年予想される世界の十大リスク (by ユーラシア・グループ)。なんとトップ4を含む7つは、米・トランプ新政権によってもたらされるものでした。とんでもない選択をやらかした米国民……でもそれを非難し軽蔑する資格が、私たちにはありません。

県民がデマを信じて斎藤知事を復活させた兵庫県知事選は、まさに米大統領選のミニチュア版。石丸旋風に百数十万票を巻き上げられたあげく、ウソ・ごまかしみれの小池氏の三選を許した東京都知事選も同類でしょう。

たしかに有権者の投票はおろかだと言わざるをえませんが、同時に、現状の「民主主義」の致命的な欠陥がはっきり見えたという点では、よいニュースでもあります。

幸い私たち東京都民には、自らの愚かさを反省し、かつ民主主義の欠陥の修正を試みる絶好のチャンスがこの夏にやってきます。今からマスコミ情報、SNS情報を偏りなく収集・吟味し、参院選・都議選には「賢い」有権者として臨みたいものです。

梅丘1丁目・真藤 一彦

養父母をタライ回しされた

～帰国した残留孤児を訪ねた～  
昨年12月のある日、私は代田1丁目都営住宅に住む中国残留孤児のY子さんを訪ねた。帰国してから既に40年近くなるが日本語は未だ「たどたどしい」。

現在、86歳。医者にかかった時に病状を説明するのに、一苦労。「脑袋痛、肚子痛(アタマ痛い、腹痛い)」と言ってもなかなか通じなかったとか。幼少時は養父母を3回タライ回しされ悲しい思い出もした。「文革」の時も「日本鬼子」といじめられた。しかし、私を育ててくれた中国は弟2のふほさと。悪く言うつもりはありません、と。

※日本鬼子(リーベンクイズ)

=バカヤローの意。

代田1丁目・荒川 興道

あけましておめでとーございす  
2025

今年ほガガやウクライナでの戦争が終わってほしい!

参院選で改憲勢が6割と議席を減らさうに、

憲法9条を守りぬるめ  
すにしても平和を安心できる世界に!

代田4丁目 萱野幸子

寄稿

## 日本の壁について

代沢九条の会 松尾 弘

今回の衆議院選挙で大きく取り上げられた課題の一つに、「103万円の壁」が話題になり、取り上げた政党が大きく前進しました。

私たちの生活のうえでも、ほかにも壁がいくつかあります。「男女不平等の壁」「正規・非正規雇用の壁」、話題になっている子どもたちの「不登校の壁」、さらに前々からある「肌の色の違いの壁」、「出身国の違いによる壁」、このような壁を一つ一つ乗り越えていくと、さらに大きな壁に我々は進路をふさがれます。それが、「日米地位協定の壁」です。この大きな壁は、なかなか突き崩せない壁ですが、我々日本人がどうしても取り払わない限り、真の独立国とはいえないと思います。

今年もいろいろな壁を取り払いながらの一年間と思います。

これからもみなさまとともに歩んでいきたいと思えます。

## 代田・九条の会 新年会

日時：1月18日(土) 13:00から

場所：カラオケ“ああ 星董派“

(梅丘1-16-4)

会費：3000円の予定

ご参加をお待ちしています。



## きな臭いこと

先日、テレビを見ていたら、中谷・防衛相が落下傘降下訓練に自らが参加して得々としている映像が流れた。「離島奪還作戦」の演習とかで、毎年恒例となっているそうだが、今年は海外から11か国が参加した、とされている。こんな演習を長々とテレビが放映するのか、と思った。また、「同盟国」とか「同志国」とかいう言い方で国を選別しているが、いつの間にこんな軍事的なブロックが固定されてきたのだろうか。

ロシアのウクライナへの侵攻や、イスラエルによるガザなどでの虐殺行為など、世界では軍事的な紛争が絶えない。アジアでも、北朝鮮や中国の動向など軍事的な緊張は高まっている。こんな中で、軍事に頼らず平和を維持するための外交の努力はどうなっているのだろうか。

アメリカのトランプ大統領は、NATO諸国に対して軍事費の増額を強く求めるそうである。当然日本に対しても同様な話が出てくると思われる。岸田政権時代に、軍事費の対GDP比1%を超える増額が決定されてきた。ほぼ5年間で43兆円といわれる総額に対して、来年度予算は総額では9兆円を超えるのではないかとされている。自衛隊の活動をメディアで流し、国際的な緊張を際立たせ、軍事費増に対して国民の目をくらまそうとしているように見える。

こんなきな臭い話はさっさとおしまいになんてはならない。

昨年の総選挙で自公与党の過半数割れは実現したが、まだ憲法を守り平和外交を推進する勢力の力が強まり、政治を動かしていくまでの変革には至っていない。夏の参議院選挙でさらにこの動きをいい方向に進めていけるように今年も活動を続けていこうと思っている。

代田2丁目・伊東 宏

～ 私たちが住み、暮らし、働いているまち 代田で、  
「日本国憲法第9条」をまもり、活かす活動をすすめましょう ～  
+++ このニュースを、ぜひ、周りの人に広めてください。 +++